講義名	日本語総合A				授業形態		その他	内容は随時コピーしたものを配布する。また、教科書以外にも、内容を補強する資料を状況に	ウレナ和	***	
		開講期・曜日・時限 前期 月曜日 3時限					教科書0.	内谷は炯明コピーしたものを配布する。また、教科書以外にも、内谷を間強する貝秆を仏术	-NO U CRE	9 🛇	
担当教員	横田 彩子										
		単位数 2 履修開	開始年次 1年生	ナンバリン・	ク・コ JPN100						
題と概要							授業計画				
JUFT に相当の文法項目を体系的に学び意味を理解すると同時に、その文法がJUFTの問題や日常生活で出てきたときに確実に対応できる力を身につけられるよう、実践的な練習を積んでいく、文法項目ごと の使用増加を考慮し、書き言葉として用いる文法については他の授業でのレポート課題などで使用できるよう練習を行い、話し言葉で用いるものに関しては、日常会話で使用できるよう練習を行う。						要素 1 im					
						(福田内台・通教ノートで全座・(福田) (保護内台の近野を水のもこと(120万) 第2回 文法項目 - 24 予部内容・配布資料の内容を確認すること(90分) (福国内名・議教ノートを整理・復習し、投業内容の理解を深めること(150分)					
						(復国内容:講義) 一トを整理・復習し、授業内容の理解を深めること(150分) 第3回、文法和目25-48 予図内室: 配布製物の内容を確認すること(90分) 復国内容: 配布製物の内容を確認すること(90分) 復国内容: 議義 一トを整理・復選し、授業内容の理解を深めること(150分)					
						復国内容: 護護プートを整理・復音し、授業内容の理解を深めること (150分) 第4回 文法項目49-71 予習内容: 私売資料の内容を確認すること (90分) 復習内容: 議義 ノートを整理・復富し、授業内容の理解を深めること (150分)					
達目標											
選集 日標 リア (水相当の文法の意味を理解できる JUT (水相当の文法の意味を理解できる JUT (水相当の文法を世)・「実践中日常会話で使用できる JUT (水相当の大法をサポート実践中日常会話で使用できる						第5回 文法項目72-95 予宮内害: 配布解判の内容を確認すること(90分) ・複習内害: 繊美 ノートを密理・復習し、授業内容の理解を深めること(150分) 第6回 文法項目96-107					
JLPT NZ相当の文法をレポート課題や日常会話で使用できる						予習内容: 配布資料の内容を確認すること (90分) 復習内容: 講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること (150分)					
						第7回 文法項目100-119 予部内容: 8市資料の内容を確認すること(90分) 復習内容: 講義プートを整理: 復習し、授業内容の理解を深めること(150分) 第8回 文法項目200-131					
						予語内容・配布資料の内容を確認すること (90分) 復国内容・議員 - 1 トを整理・復意し、保護内容の理解を深めること (150分)					
						第9回 文法項目120 - 143 予習内容: 記布選邦の内容を確認すること(90分) 復図内容: 議務 ートを整理・復富し、授業内容の理解を深めること(150分)					
出課題 授業内で学んだ文法を使用し文を作る課題の提出を求める。						第 1 0 回 文法1度1144-155 予習内容・配布資料の内容を確認すること(90分) 復習内容・講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること(150分)					
ACALLY STREET WAS A STREET WAS					第11回 文法項目55-167 予習內容: 配布資料の内容を確認すること(90分) 復習內容: 講義 ノートを登理・復習し、授業内容の理解を深めること(150分)						
							第12回 予習内容 復習内容	文法項目188 - 179 : 記布資料の内容を確認すること(90分) : 講義プートを登理・復習し、授業内容の理解を深めること(150分)			
					第 1 3回 文法項目180 - 191 予習内容: 配前資料の内容を確認すること (90分) 復習内容: 議義 / 一トを整理・模當し、授業内容の理解を深めること (150分)						
							第 1 4 回 テスト 予習内容・今までの配布資料の内容を復習すること(90分) 復習内容・テストで正答の自信がない父没項目を復寄すること(150分)				
課 (レポート	トや小テスト等)に対するフィードバックの方法						第15回	テストのフィードバック、授業のまとめ			
提出された課題の講評を行い、返却する。全体的に智熱度が低いと見られる文法項目は、授業で再度取り上げ解説を行う。					_	(アクティブ・ラーニング)ア:PBL(課題解決型学習)	_	/ . ビシ・狐米 / hnixk別 個 n 原連 + 狐米 l . トウ + ユ ・ hnixk rois な の 原連 + 幼 ウッパ	2. +m 444 T/ 605 \		
							\vdash	ア: PBL (課題解決型子首) ウ: ディスカッション、ディベート	+	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行 エ:グループワーク	つ授業形態)
								オ:ブレゼンテーション		カ:実習、フィールドワーク	
						キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)					
						卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
							- 子	ノ」となる	ために身につけておくべき基礎能力のうち、「仲間と協同して、物事を成し遂げる	ることができる人材」	
呼価の基準	nov.						200	必要な日本語能力を分にプリ、活用することかできる」力の管成を目指すものである。			
課題の達成度 3 授業への参加度 最終テスト 40%	90% 30% %										
5回以上欠席した場合は上記の評価に関わらず不合格とする。											
	修にあたっての注意・助言他						双方向抗	受業の実施及びICTの活用に関する記述			
	授業内での講師とのやり取りを通して、文法への理解を深め、文法使用に慣れることを目指すため、積極的な参加を歓迎する。										
							なし				
							なし				
							なし				
							なし				
								^歳 の有無及び活用			
								の有無及び活用			
							実務経験	京の有無及び活用			
授業内での講師と							実務経験	ま の有無及び活用			
授業内での講師と	本語総まとめ N2文法.	佐々木仁子、松本紀子		3 0	1320 97848	16639488	実務経験	象の有無及び活用			
授業内での講師と 対料書 増補改訂版 日本				3 7	1320 97848	16639488	実務経験なり	象の有無及び活用			
授業内での講師と 対料書 増補改訂版 日本		佐々木仁子、松本紀子	7				実務経験なし	(の有無及び活用			
授業内での講師と			7			16639488 17424949	実務経験なり	東の有無及び活用			